

# ハクチョウの鉛中毒

## その治療と保護飼育中に起こったV B<sub>1</sub>欠乏症と筋胃の食滞

望月 明義

399-8203 安曇野市豊科田沢4599-6

### 1.はじめに

採食場所から埒に帰る時、うまく飛び上れず電線に衝突、落下したコハクチョウの幼鳥が運び込まれてきた。この事故の背景に鉛中毒があった。外科的に鉛を摘出することにより一時劇的に回復したかに見えたもののV B<sub>1</sub>欠乏症、さらに筋胃の食滞を起こし死亡した1例を報告する。

### 2. 保護したハクチョウの概要

コハクチョウ ♂ 3.20kg

2011年2月18日安曇野市穂高の水田から犀川の埒に帰る際、飛び上りきれず電線にぶつかり落下。以降元気なく餌も採らないため2月21日に保護。



図1 保護された場所。安曇野市穂高

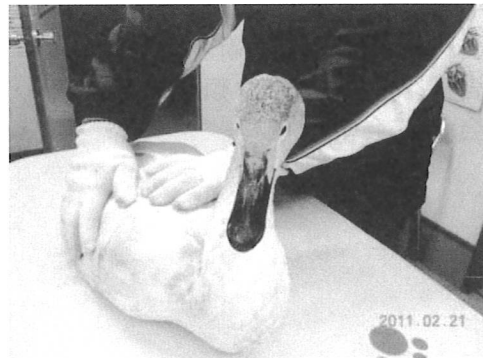


図2 保護されたコハクチョウの幼鳥

### 症 状

削瘦、元気なく可視粘膜蒼白、鼻汁、緑便がみられた。

Akiyosi MOCHIZUKI Lead poisoning in tundra swan (*Cygnus columbianus*)

Treatment of lead poisoning of the swan and successively occurred Vitamin B<sub>1</sub> deficiency and food impaction in the gizzard

## 検査

体温 39.0℃

X線 骨折はないが、筋胃内に薄い金属片を容れている。

## 治療

鉛の摘出手術

2011年3月22日(第2病日) 筋胃内の鉛摘出手術実施(イソフルラン麻酔、人口呼吸下)

筋胃内より3mm x 2mm x 0.7mmの鉛片を摘出。

## 投薬

5%ブドウ糖の経口投与 第1病日、第3病日

強肝・ビタミン剤 第3病日

鉛解毒剤(エデト酸2ナトリウムカルシウム) 第2、第3、第4病日

抗生物質 第2病日(手術時) 第4病日

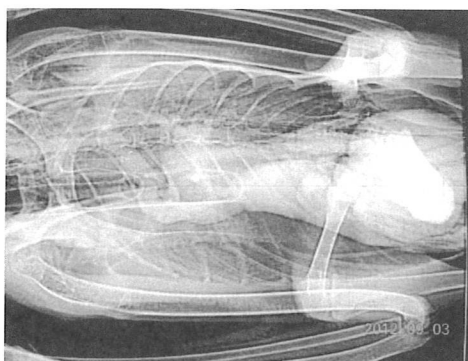


図3 X線写真下部の白い部分が筋胃



図4 筋胃内の鉛片 白い線状の陰影



図5 腹部の切開部位



図6 切開された筋胃